

2024年3月期 第2四半期 決算説明資料



クオールホールディングス株式会社

2023年11月9日

東証プライム：証券コード 3034

The Prime Market of the Tokyo Stock Exchange
3034



INDEX

目次

- I 決算概要
- II クオールグループの成長戦略
- III 重点施策
- IV サステナビリティ経営の推進

I

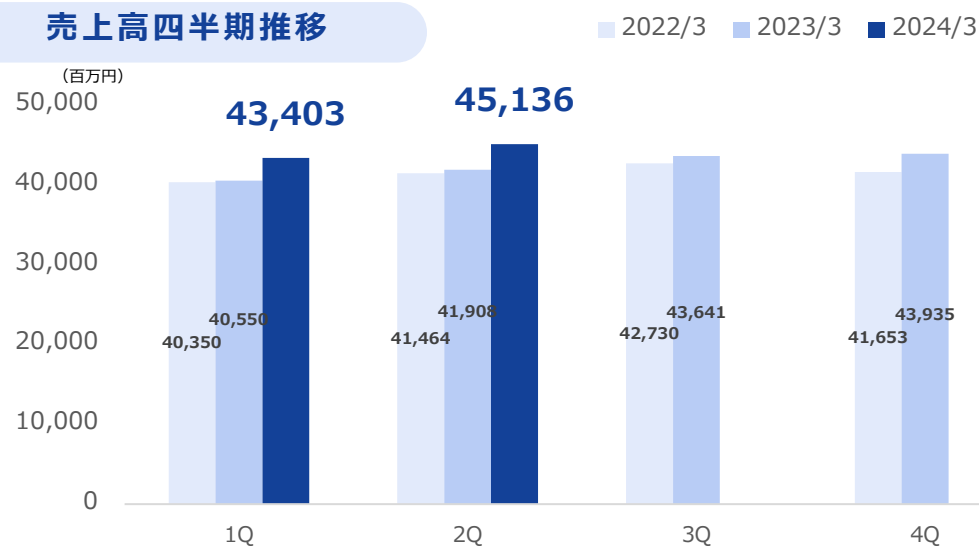
決算概要

2024年3月期 第2四半期 連結業績ハイライト

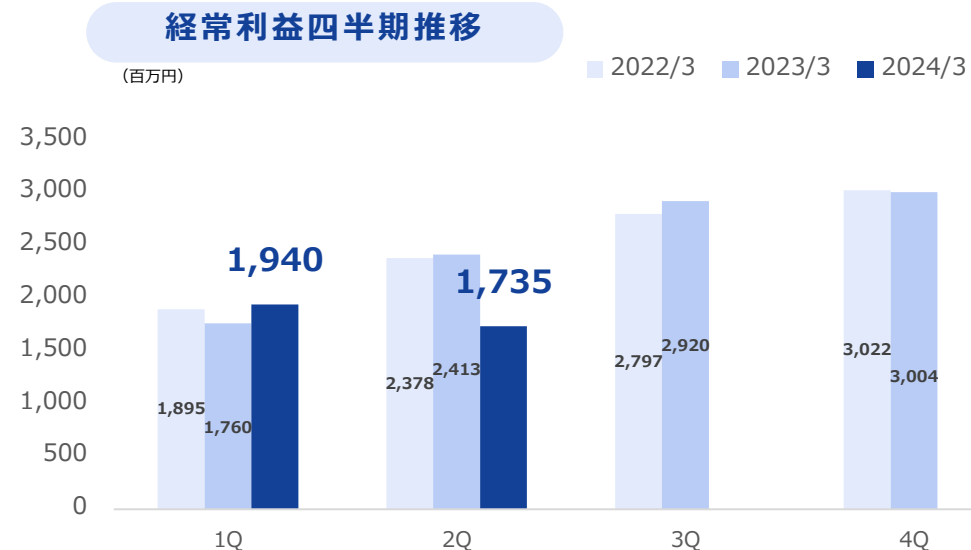


	2023年3月期 第2四半期 実績	2024年3月期 第2四半期 実績	増減額	増減率 (%)
売上高	82,459	88,540	6,081	7.4%
営業利益	4,022	3,559	△ 462	△ 11.5%
経常利益	4,174	3,675	498	△ 11.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,366	1,888	△ 477	△ 20.2%
1株当たり 当期純利益 (円)	64.11	50.80	13.31	—

売上高四半期推移



経常利益四半期推移



(単位:百万円)	2024年3月期 第2四半期 実績	2024年3月期 第2四半期(計画)	達成率 (%)	2024年3月期 通期計画	進捗率 (%)
売上高	88,540	85,600	103.4%	180,000	49.2%
営業利益	3,559	3,500	101.7%	10,000	35.6%
経常利益	3,675	3,500	105.0%	10,700	34.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,888	1,800	104.9%	6,200	30.5%
1株当たり 当期純利益 (円)	50.80	48.46	104.8%	166.78	30.5%

連結損益計算書



(単位：百万円)	2023年3月期		2024年3月期		増減	増減率 (%)
	第2四半期	実績	第2四半期	実績		
売上高	82,459		88,540		6,081	7.4%
売上原価	71,602		77,508		5,906	8.2%
売上総利益	10,856		11,031		174	1.6%
販管費	6,834		7,472		637	9.3%
営業利益	4,022		3,559		△ 462	△ 11.5%
利益率	4.9%		4.0%		-	-
経常利益	4,174		3,675		△ 498	△ 11.9%
利益率	5.1%		4.2%		-	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,366		1,888		△ 477	△ 20.2%
利益率	2.9%		2.1%		-	-

調剤薬局事業

- ・ 既存店の処方箋枚数の回復
- ・ 前期及び今期の出店により処方箋枚数が増加し売上が伸長
- ・ 薬価改定および地域支援体制加算の経過措置終了の影響
- ・ 原価の上昇

医療関連事業

- ・ 派遣MR数の増加
- ・ 医療系人材紹介派遣（薬剤師/登録販売者）の需要が拡大
- ・ 治験案件の増加

連結貸借対照表



(単位：百万円)	2023.3.31	2023.9.30	増減
流動資産	44,214	50,106	5,892
現金及び預金	18,770	17,428	△ 1,341
固定資産	57,689	57,259	△ 430
有形固定資産	16,108	16,360	252
無形固定資産	33,790	33,040	△ 750
資産合計	101,905	107,365	5,460
流動負債	36,330	43,490	7,160
固定負債	16,719	13,614	△ 3,104
負債合計	53,049	57,105	4,056
有利子負債	22,983	25,680	2,697
純資産	48,856	50,260	1,404
自己資本	48,808	50,219	1,411
負債純資産合計	101,905	107,365	5,460

(単位：百万円)

流動資産	+5,892
現金及び預金	△ 1,341
その他流動資産	+7,204
固定資産	△ 430
流動負債	+7,160
短期借入金	+7,500
1年内返済予定の長期借入金	△ 1,454
固定負債	△ 3,104
長期借入金	△ 3,038
純資産	+1,404

自己資本比率：46.8%

・第一三共エスファの株式30%
取得のための借入

➡ 金融機関との強固な関係

➡ 変化への即応体制

キャッシュフロー計算書



(単位：百万円)

	2023年3月期		2024年3月期	
	第2四半期	実績	第2四半期	実績
営業活動による キャッシュ・フロー	4,711		6,391	
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 1,681		△ 9,905	
フリーC/F	3,029		△ 3,513	
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 5,223		2,170	
うち配当金の支払額	△ 527		△ 640	
現金・現金同等物の 増減額	△ 2,193		△ 1,343	
現金・現金同等物の 期首残高	16,516		18,596	
現金・現金同等物の 期末残高	14,323		17,253	

(単位：百万円)

営業活動によるキャッシュフロー	+6,391
税金等調整前四半期純利益	+3,612
投資活動によるキャッシュフロー	△9,905
有形固定資産の取得による支出	△1,239
連結の範囲の変更を伴う 子会社の取得による支出	△759
財務活動によるキャッシュフロー	+2,170
短期借入金の純増減額	+7,500
長期借入金の返済による支出	△4,493

- ・ 財務活動CF→借入金の増加
- ・ 潤沢な資金調達力を活用し
M&Aや連携を機動的に実施

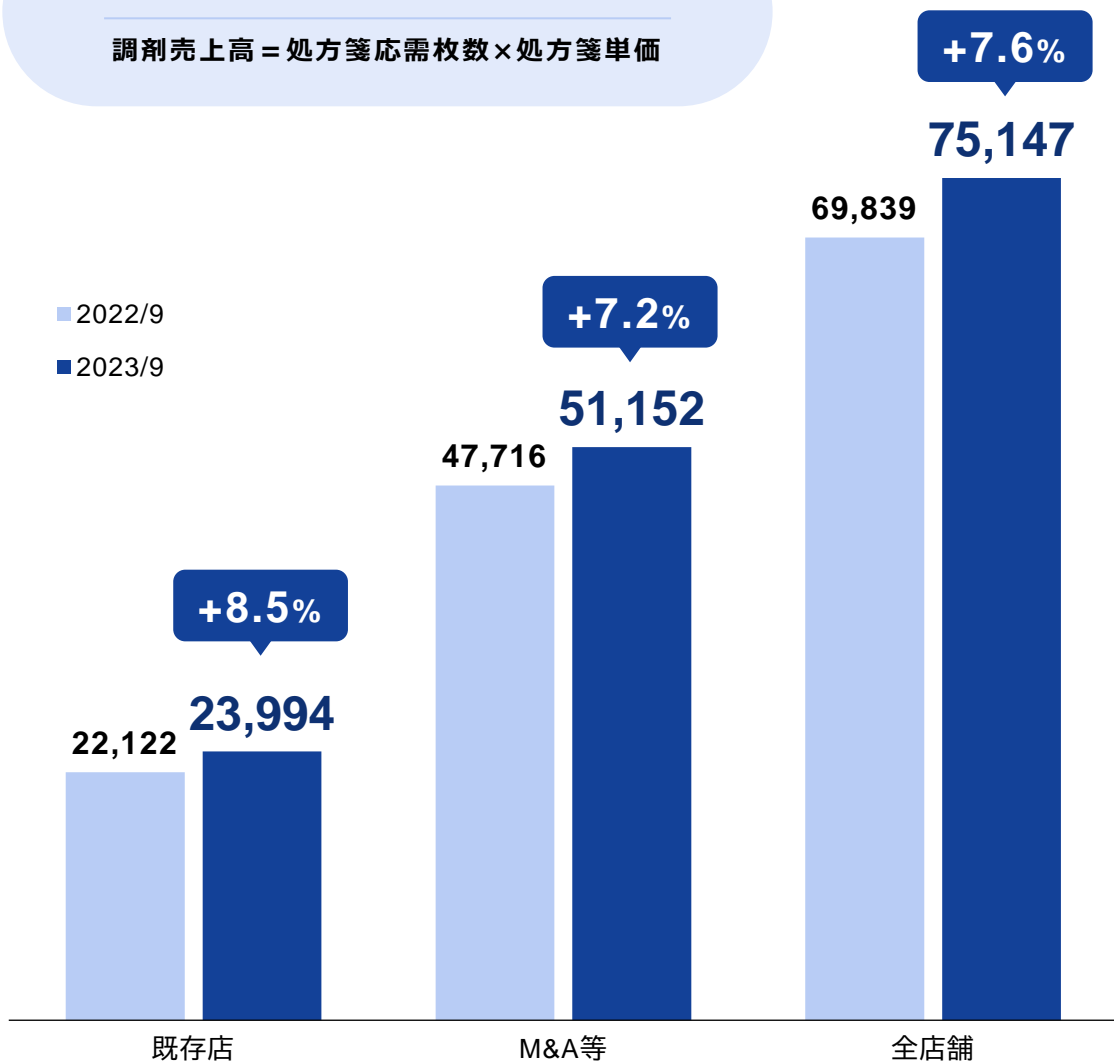
セグメント概況



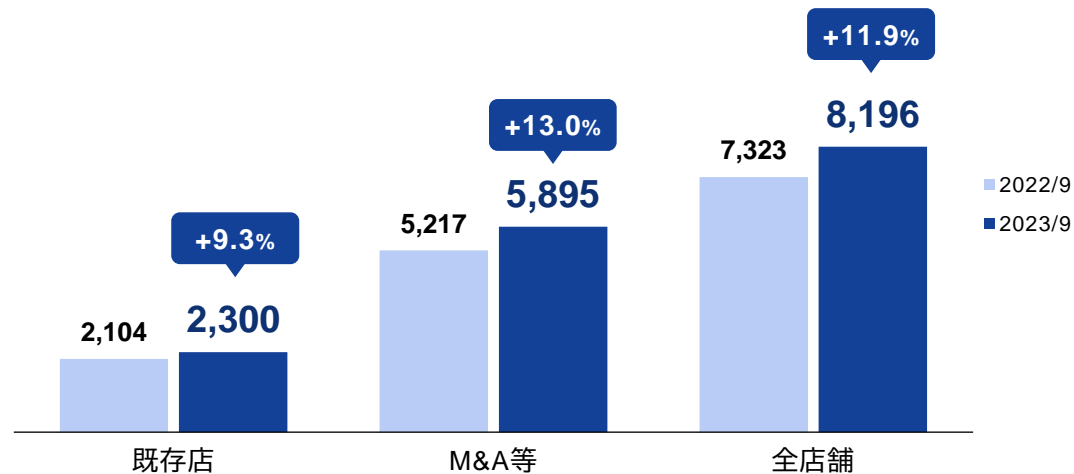
(単位：百万円)	2023年3月期		2024年3月期	
	第2四半期	実績	第2四半期	実績
調剤薬局事業売上高		75,557		80,966
セグメント利益		5,056		4,714
利益率(%)		6.7%		5.8%
医療関連事業売上高		6,901		7,573
セグメント利益		645		658
利益率(%)		9.3%		8.7%

調剤売上高 (百万円)

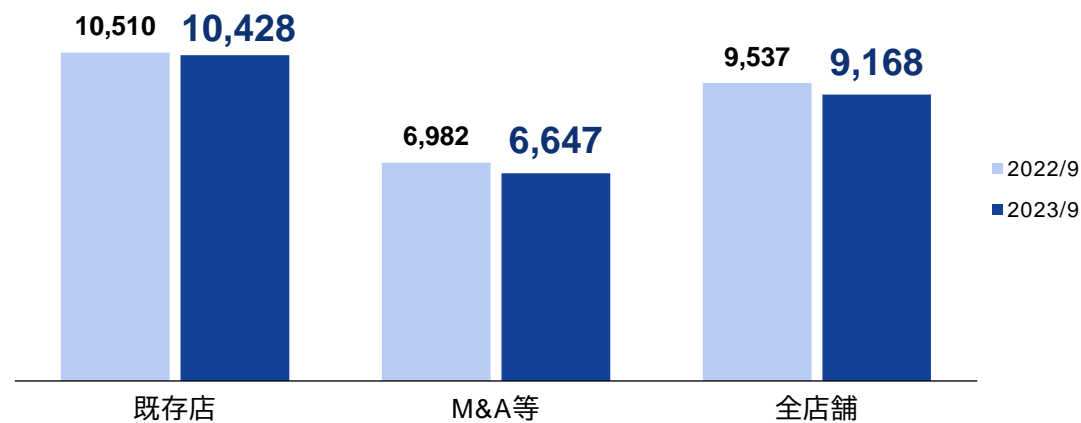
調剤売上高 = 処方箋応需枚数 × 処方箋単価



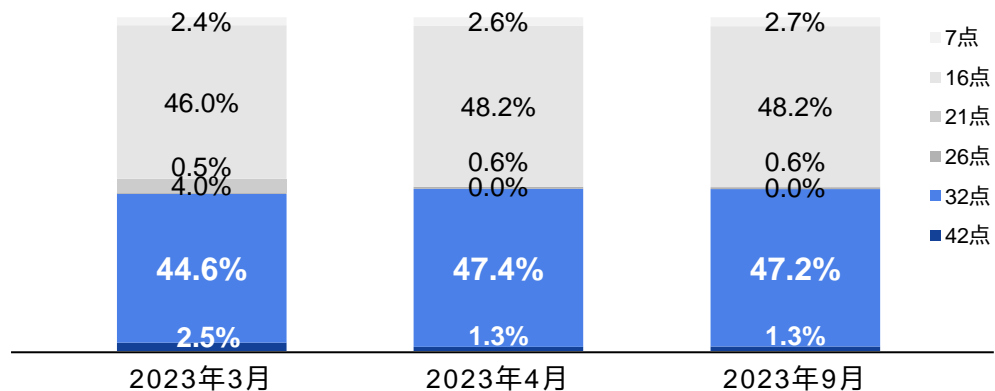
処方箋応需枚数 (千枚)



処方箋単価 (円)



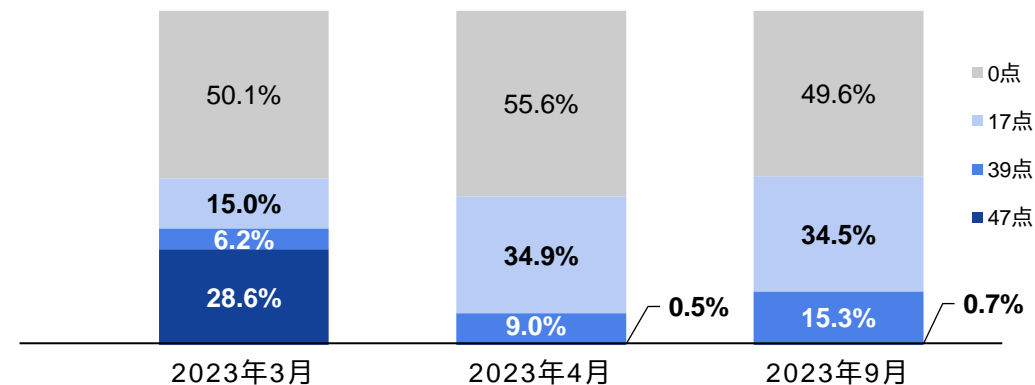
調剤基本料 店舗割合



薬局数 > 866 870 890

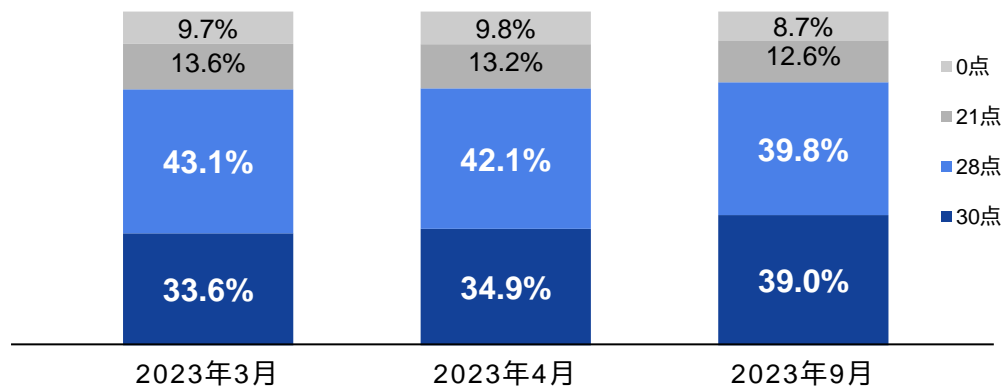
地域支援体制加算 店舗割合

(連結ベース)



薬局数 > 866 870 890

GE医薬品調剤体制加算 店舗割合



薬局数 > 866 870 890

GE変更率 (数量ベース)

86.1%
(2023年9月)

II

クオールグループ の成長戦略



2025年度中期目標達成のための3つの成長戦略

質の向上

保険薬局



規模拡大

医療関連



更なる成長

第一三共
エスファ

1. 2025年度中期目標達成のための成長戦略 数値目標

3つの成長戦略の数値目標を設定

質の向上	保険薬局	売上高 年平均成長率	利益性改善
		コロナ禍以前の成長率へ回復 +5%以上	技術料とコストのバランスを目標に設定 7%向上
規模拡大	医療関連	売上高 23年度比	営業利益率
		M&Aも含め規模を拡大 120%	利益率を維持 12%以上
更なる成長	第一三共エスファ	売上高 年平均成長率	利益率
		従来を上回る成長を実現 +15%以上	利益率を維持 15%以上

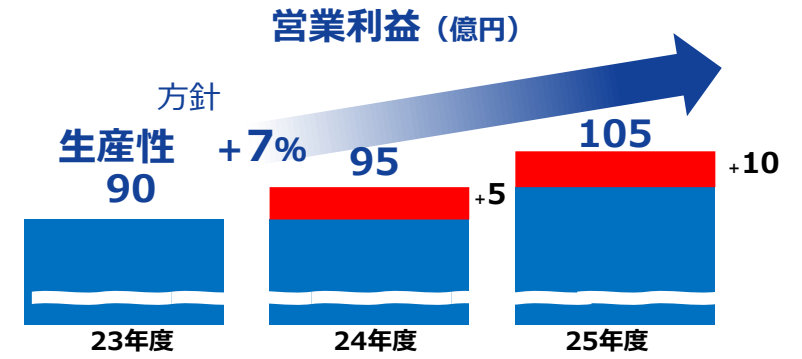
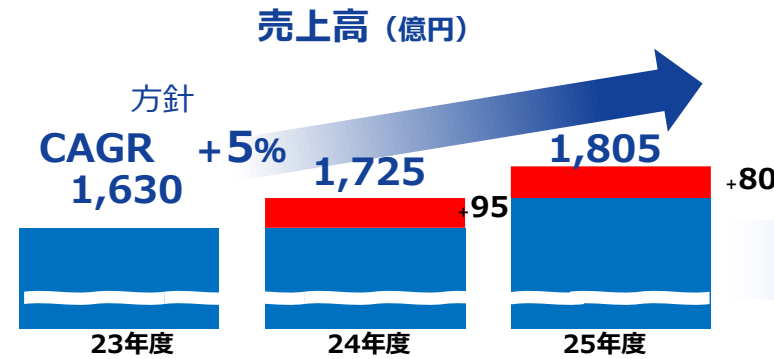
1. 2025年度中期目標達成のための成長戦略 金額目標①



3つの成長戦略の金額目標を設定

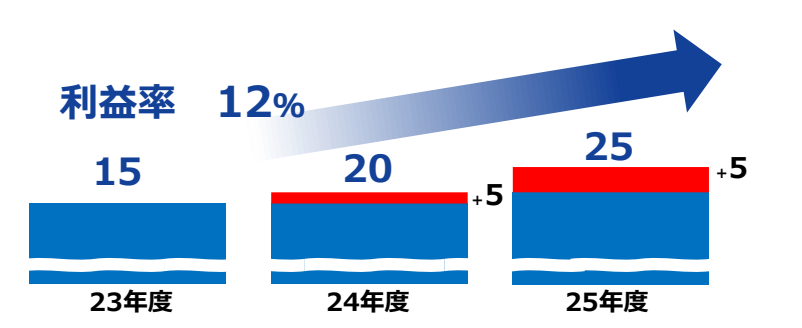
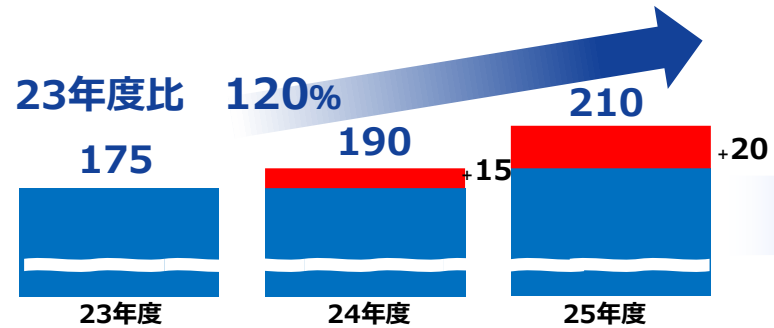
質の向上

保険薬局



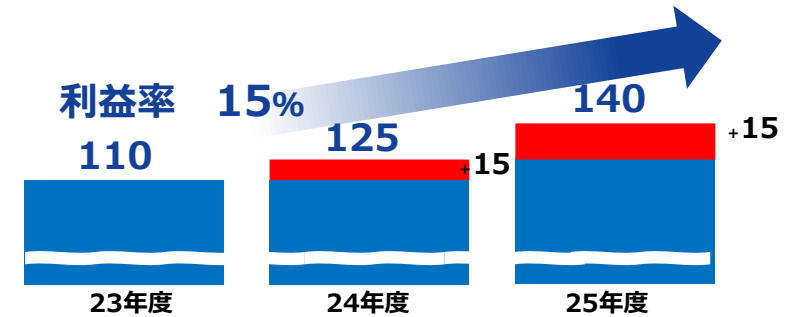
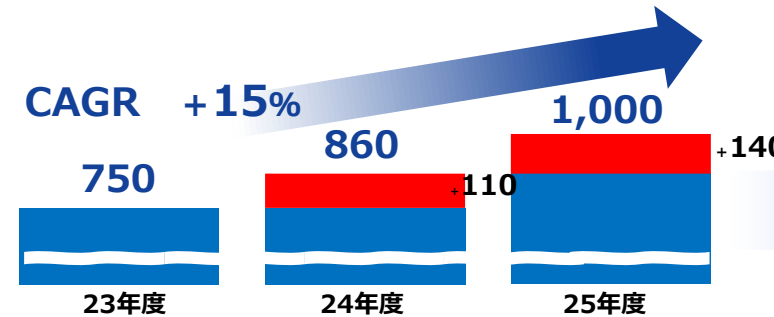
規模拡大

医療関連



更なる成長

第一三共
エスファ

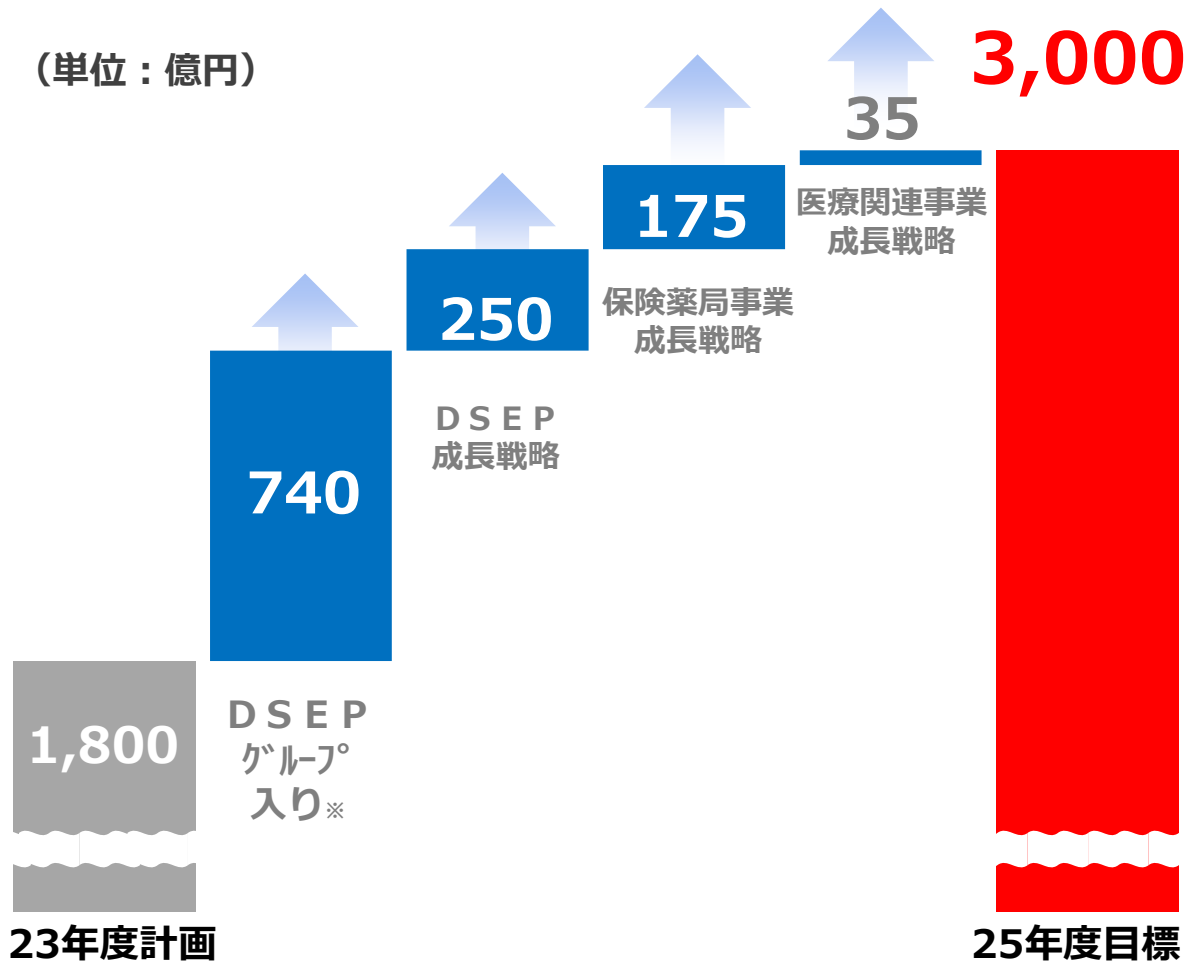


1. 2025年度中期目標達成のための成長戦略 金額目標②



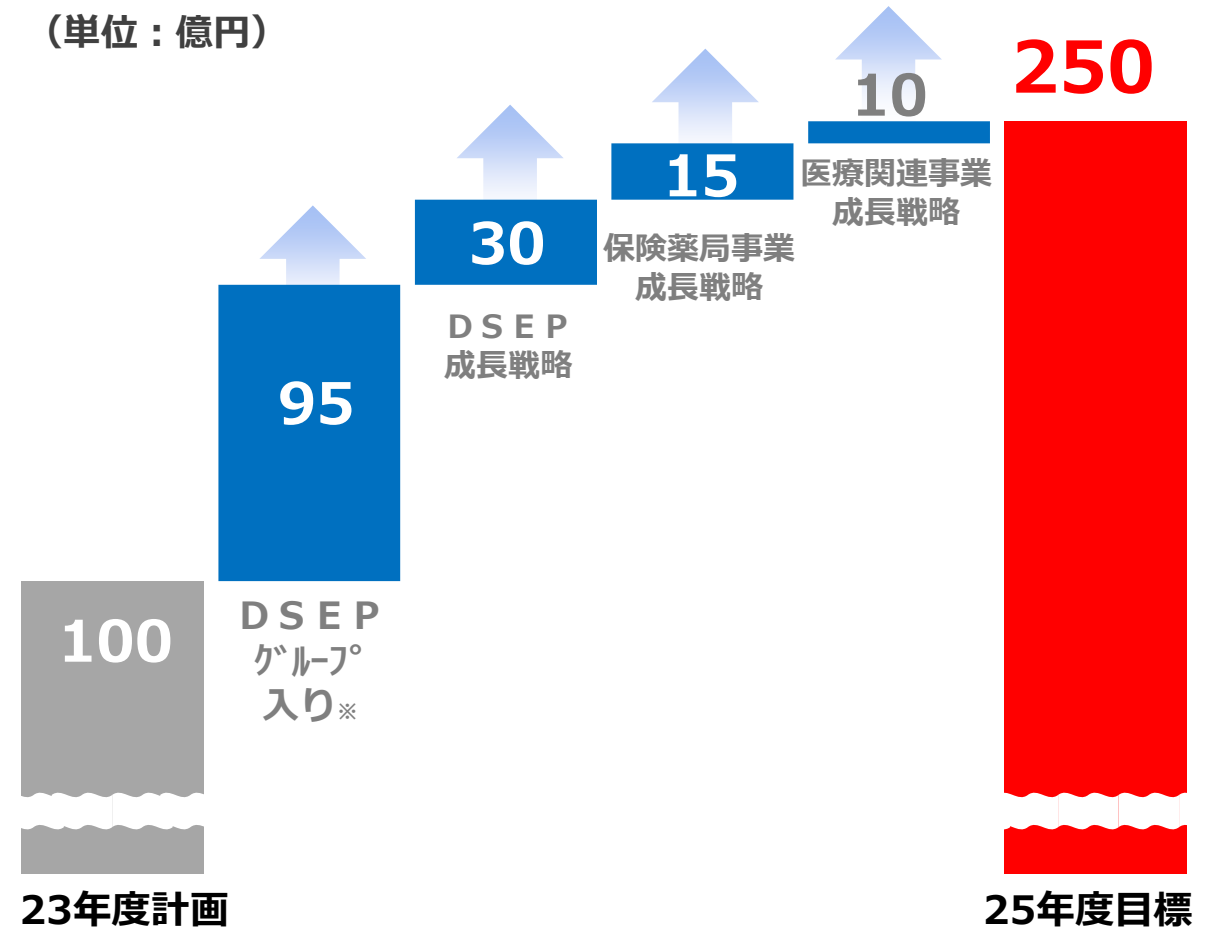
■ 連結売上高計画

(単位：億円)



■ 連結営業利益計画

(単位：億円)



1. 2025年度中期目標達成のための成長戦略 金額目標③

■ 連結業績

2025年度

売上高

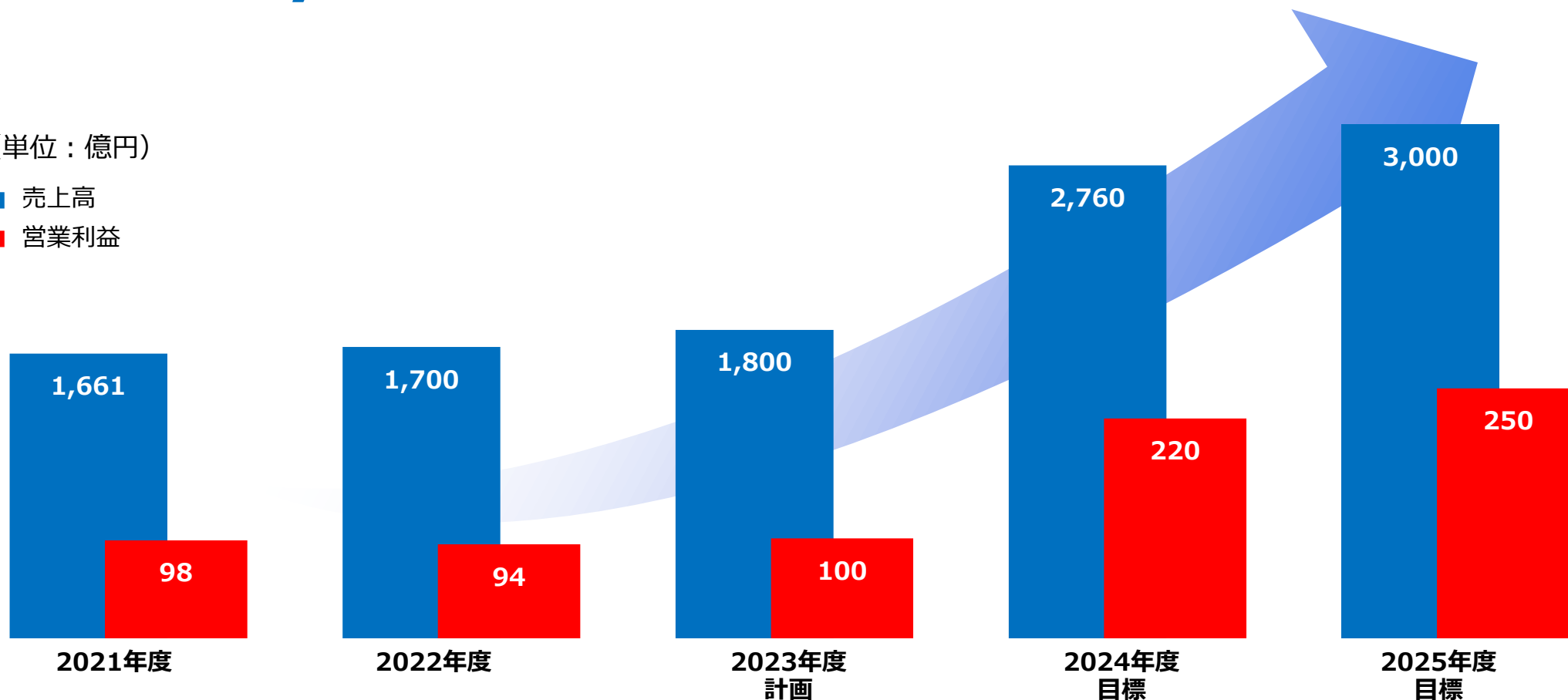
3,000億円

営業利益

250億円

(単位：億円)

■ 売上高
■ 営業利益



2. 各事業の成長戦略 (2) 医療関連事業の成長戦略と目標



成長目標

①売上高 23年度比 **120%**

②営業利益率 **12%以上維持**

積極投資により規模拡大。グループの成長に寄与する規模まで拡大。

1. 積極的M&A

2. 各事業のオーガニック成長

オーガニック成長：売上CAGR+10%



APO PLUS STATION

- ・CSO
専門領域人財の育成強化
CMRの拡充 (1,000名体制)
- ・CRO
各種試験の受注拡大
食品分野での協業 (大手食品メーカー)

MEDICAL QOL メディカルクオール株式会社

- ・既存事業の新規顧客開拓
- ・コンベンション事業の拡大
- ・コンプライアンス事業安定化

藤永製薬株式会社

- ・導入や共同開発
リポジショニングによる
新製品開発
- ・DSEPとの協業

アポプラスキャリア 株式会社

- ・医療職種の拡大
(医療事務・産業医・医師・看護師)
- ・サービスの拡充

第一三共エスファ（株）グループ入りの目的

1

医薬品に集中・特化して成長

2

中期目標の確実な達成

3

保険薬局事業の安定した成長と継続

成長のための3大方針

従来の発展



AGの拡大

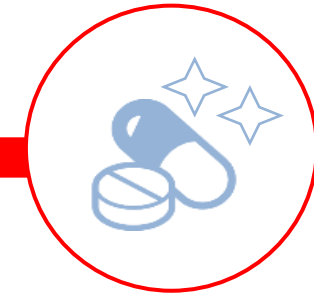
- ・ AGの認知度向上
- ・ 製品数拡大（ライセンス獲得）

新たな挑戦



販売機能拡大

- ・ 他社新薬、既存薬の併売
などにより販売会社機能を拡大



新製品開発

- ・ 新技術等でのリポジショニング
- ・ 未承認薬などの導入・共同開発

グループシナジーを発揮し毎年の薬価ダウンを吸収



教育の強化

クオールの強みである
教育分野で連携

- ✓MR教育の更なる強化
▶APS College
- ✓MRの質の向上
▶クオールアカデミー

第一三共エスファの
優秀な社員との人財交流



開発力の強化

AG・特徴的GE開発支援
藤永製薬との連携

- 先発品よりアドヒアランスが
向上するGEの開発
- ✓医師・患者・薬剤師の声

薬剤師と共同研究を実施
エビデンスの構築



新規事業

イノベーション事業部の設立
全く新しい取組を検討

- 医療に貢献するツール作成
- ✓アドヒアランス向上
 - ✓在宅服薬サポート

Ⅲ

重点施策



グループ成長戦略の全体像



総合ヘルスケアカンパニー

研究
開発



製造



販売



病院
薬局



患者
さま



第一三共エスファ株式会社



藤永製薬株式会社



メディカルクオール株式会社

APO PLUS STATION



クオール薬局グループ
Quality Of Life



アポプラスキャリア

APO PLUS STATION

調剤

売上成長・安定収益



医療関連

高収益

売上



調剤

+

医療関連



- 規模拡大
 - ・ 新店 (10~20店)
 - ・ M&A (30~70店)
- 店舗の付加価値UP
- 利便性

- 規模拡大
 - ・ 新製品の開発
- 派遣 (固定費から変動費へ)
- デジタル紹介

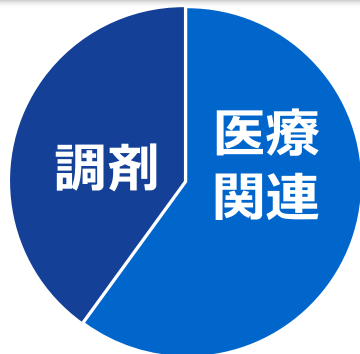
利益



調剤

+

医療関連



- マンツーマン薬局
 - ・ 在宅調剤
 - ・ 在庫コントロール
- デジタルを活用した生産性

- 高収益
- 高付加価値
- コスト適正化

	18/3	19/3	20/3	21/3	22/3	23/3	24/3 2Q
新店	20	17	18	16	15	21	13
M&A	14	50	39	18	15	48	2
売店	1	0	3	0	1	1	2

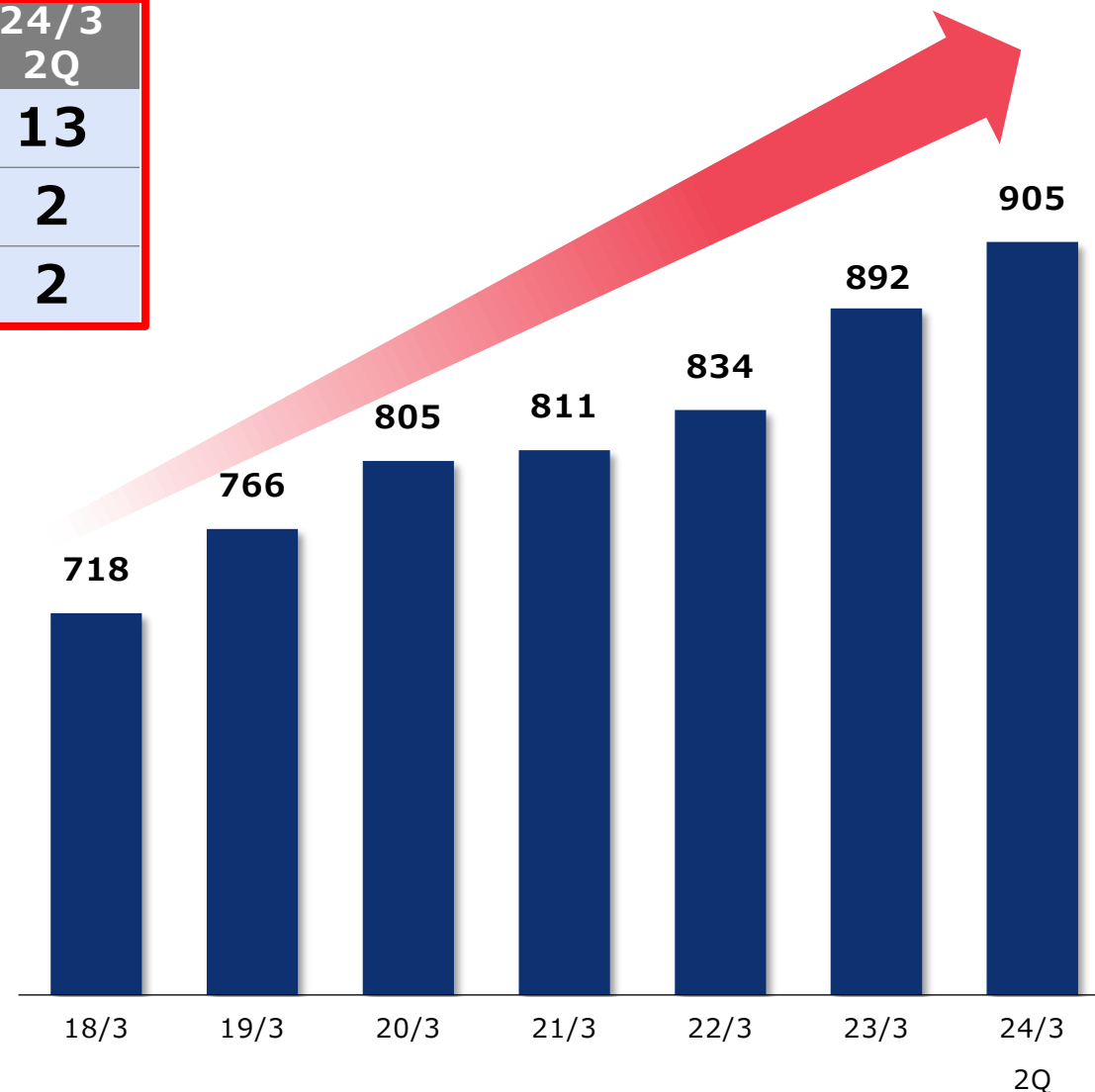
➤ 高収益な新店の開発



(共栄堂薬局下柳店)



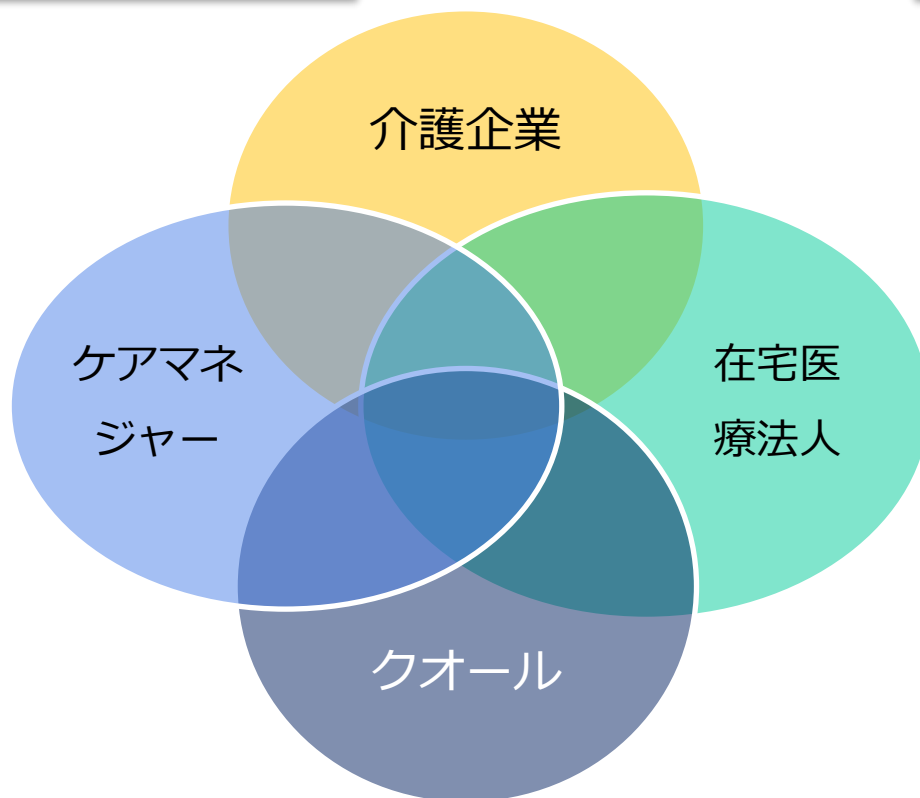
(処方元：エールホームクリニック様)



クオール主催で、介護施設運営企業、在宅医療法人と医療介護連携会を実施。
施設との連携強化。

Collaboration room

医療介護連携会



IV

サステナビリティ

経営の推進



サステナビリティ委員会

2023年4月

- サステナビリティ動向調査
- サステナビリティに係る経営戦略の立案
- 重要課題(マテリアリティ)の特定と見直し
- 進捗状況のモニタリング、達成状況の評価

サステナビリティ委員会
事務局

2023年7月

- 部門横断の組織で、幹部・中堅・若手で構成
- 多様な価値観・発想で、現状認識・将来あるべき姿につき討議

➤ 2030/2050達成目標 策定

項目	目標年	目標値
グループ全体のCO ₂ 排出量	2050年	100%削減
レジ袋利用率	2030年	8%以内
	2050年	5%以内
廃棄率	2030年	1.7%
女性管理職比率	2030年	30% 課長以上
		50% 課長以上+薬局長+統括主任
有給取得率	2025年	70%
	2030年	90%

TCFD提言
賛同バリューレポート
発行

【障がい者雇用の推進】

業界初の特例子会社 クオールアシスト株式会社

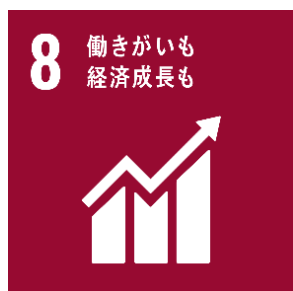
- クオールグループの障がい者雇用を促進・発展させるために2009年に設立
- 保険調剤薬局業界初の特例子会社として認定
- 重度身体障がい者を中心に在宅雇用を推進、現在50名を超える従業員が活躍
- グループ内業務代行（ホームページ作成、データ入力等）のほか、クオールグループ公式SNSの運営を担当



Instagram
@qol_net



X
@qol_net



スポーツ庁「障害者スポーツ推進プロジェクト」を受託



(2023年10月 神奈川県川崎市イベントの様子)

- 日本障がい者サッカー連盟、全国自治体と連携
- 各都市で障がい者スポーツ体験イベント、当社薬剤師・管理栄養士による健康イベント開催
- 地域住民、特に障がい者の健康増進及び障がい者スポーツへの理解・支援の促進

切れ目ない医療



【IRお問い合わせ】

クオールホールディングス株式会社 広報部

T E L : 03-6430-9060

F A X : 03-5405-9012

E-mail : ir@qol-net.co.jp

お問い合わせページ : <https://www.qolhd.co.jp/inquiry/>

【免責事項】

本資料および参考資料の内容につきましては、株主・投資家の皆さまへの情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料に将来に対する見通しが含まれている場合がありますが、実際の業績は様々な要素により、これら見通しと大きく異なる結果となりうることもあり、確約や保証を与えるものではありませんのでご了承ください。また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する決定は、株主・投資家の皆さまのご判断において行われますようお願いいたします。



**わたしたちは、すべての人の、
クオリティ オブ ライフに向きあいます。
いつでも、どこでも、あなたに。**